

# 世界に誇れる山形つくる

## 山形選挙区 大沼 瑞穂

山形市表蔵王の選挙と選挙戦を振り返った。目を潤ませながら、大沼瑞穂氏(34)が発表したその言葉に全て「当確」の一報が入ると喜びで沸き返った。党山形県連の公募を

その中を少し硬い表情で登壇した大沼氏。「苦しい選挙でしたが、支えてくださった皆さまのおかげです」

形県知事が支援、県農協政治連盟が推薦を表明する厳しい戦いとなった。これに対し、大沼氏は精神的に県内全域を奔走。「みずほ」という名前は父が山形を思っていた。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という思いで、新しい未来を開きたい」との信念があった。連日のつじ立ちや集会はおちろん、悪天候下でも、イメージカラーの桜色が

現職の相手候補には山

形県知事が支援、県農協政治連盟が推薦を表明する厳しい戦いとなった。これに対し、大沼氏は精神的に県内全域を奔走。「みずほ」という名前は父が山形を思っていた。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という思いで、新しい未来を開きたい」との信念があった。連日のつじ立ちや集会はおちろん、悪天候下でも、イメージカラーの桜色が



温かい拍手の中、遠藤利明党県連会長と喜びの握手を交わす大沼瑞穂氏